

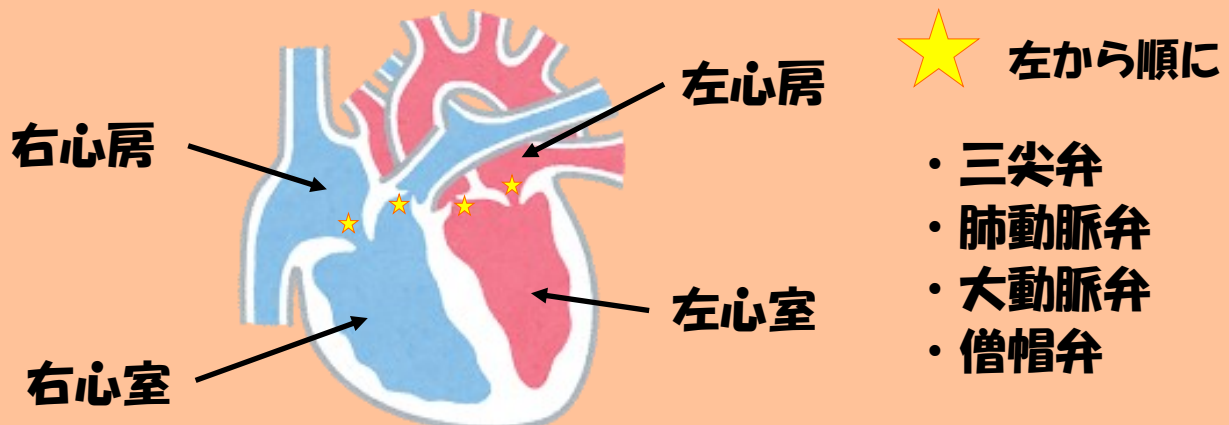


心臓病に気をつけよう！！

これから夏になるにつれ、体調を壊す子が増えてきます。
心臓が悪い子は注意が必要です。
今回は気をつけたい心臓病についてお話します。

心臓について

心臓は筋肉でできた臓器で、収縮したり拡張したりすることで血液を全身に送り出す、ポンプの役割を担っています。
また、血流を1方向に保つために心臓に弁があり、心臓の拍動に合わせて協調して動いています。



心臓が悪い子によく見られる症状

- ・疲れやすい
- ・咳をする
- ・呼吸困難
- ・チアノーゼ



注意するポイント

- ・肥満に注意
肥満は心臓に負担をかけるので注意が必要です。
- ・塩分に注意
心臓病の子には塩分の高い食事は控えましょう。



ワンちゃんが多い心臓病 僧帽弁閉鎖不全症

心臓の僧帽弁がうまく閉じず、血流が逆流してしまう病気です。年齢を重ねるに連れて発症しやすくなります。キャバリアやマルチーズ、ヨークシャーテリアなどに多いといわれています。

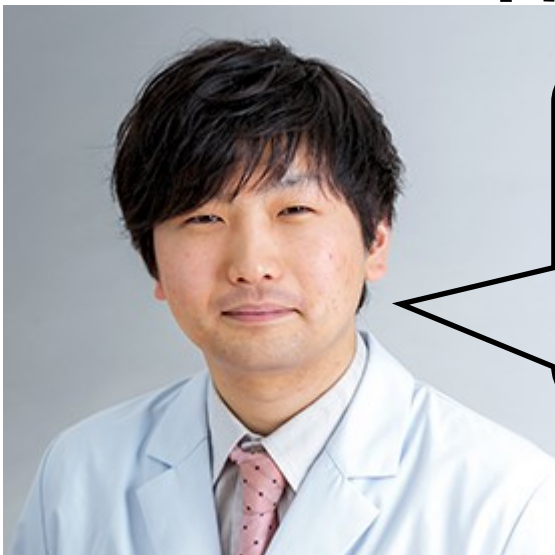


ネコちゃんが多い心臓病 肥大型心筋症

心筋が分厚くなることで心臓の機能が障害され、血流が滞ってしまう病気です。高齢の子が多いが、若い子でも発症する事があります。メインクーンやラグドール、アメリカンショートヘアに多いといわれています

心臓病は重症化する前に治療する事が大事になりますので、当院では定期的な健康診断をお勧めしています。気になる方は、スタッフまでお気軽にご相談下さい。

～新人獣医師の紹介～ 山本将太郎先生



この度、念願だった獣医師になる事ができ、この病院で働けることを嬉しく思っております。まだ駆け出しですが日々精進してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

